

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.3 4

開催地：八代市麦島校区

平成 19 年 10 月 2 日（火）、八代市麦島校区（中北町公民館）において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」を実施しました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

いただいたご意見等並びにご意見等への回答については下記のとおりです。

なお、報告会の時に回答した内容が不十分であったところについては補足しています。

参加者数※

市内	22 名
市外	1 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問	ご意見・ご質問への回答
<p>【河川整備基本方針の説明について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人吉地点で 7,000m³/s、横石地点で 9,900m³/s との説明がピンとこない。時間何ミリ降ったらこういう洪水になるというように分かりやすく教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 例えば、人吉地点における基本高水のピーク流量 7,000m³/s は、一連降雨のなかで、一番強く降っている 12 時間の雨量が人吉地点上流域の平均で 262mm の場合に発生すると想定される流量です。 なお、河川の流量は降った雨の量の大きさだけでなく、どのような時間的変化をもって降ったかによって変わります。基本高水のピーク流量の算定にあたっては、このことを踏まえ、球磨川流域で過去の洪水時に実際に降った様々な降り方の雨を用いて検討を行いました。
<ul style="list-style-type: none"> 萩原対岸が浸かったとの説明があったが、どこが浸かったのか図示して欲しい。S40 年に、豊原、高田ではどこが浸かったのか具体的に教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 過去の洪水時において八代市内で左岸側に洪水が氾濫している状況をお示しするために用いた写真について、写真に写っている場所（渡町；現在の球磨川河川敷スポーツ公園付近）と説明に使った地名（豊原）が一致していませんでした。報告会で戴いたご指摘を踏まえ、後の報告会では説明を改めさせて頂いたところです。
<ul style="list-style-type: none"> 川内川流域で降った雨が球磨川流域で降った場合、八代で 12,000m³/s の洪水となるとの説明があったが、その場合、川辺川ダムで対応できるのか。また、川内川で降った雨の話は球磨川に整合性は無いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 小委員会において、基本高水のピーク流量の妥当性の検討のため、平成 18 年 7 月に川内川流域で実際に降った雨が球磨川流域で降った場合、どのくらいの流量になるのか計算して比較してはどうかのご意見があったことから計算を行ったものです。 なお、ダムなどの具体の施設については、今後、河川整備計画を策定する際に検討していくこととなります。
<ul style="list-style-type: none"> 森林の洪水緩和機能についての説明があったが、水田こそ貯水機能が大変高い。農水省の資料に、耕地の 1.6% の棚田をほったらかすとピーク流量が 38% 増えるとある。水田の貯水、保水効果をどのように考えているのか。また、検討したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本高水のピーク流量の検討にあたっては、実際に球磨川流域で観測した洪水時の降雨量と河川流量のデータを用いて、球磨川流域における降雨量と河川流量の関係を求めています。従って、結果として、この関係式は球磨川流域における森林や水田等の実際の洪水緩和機能も反映されたものとなっています。 小委員会において、水田の洪水緩和機能に特化した議論はありませんでしたが、上で述べた関係式を用いることにより、結果として、水田の洪水緩和機能も踏まえ、基本高水のピーク流

<ul style="list-style-type: none"> 人吉市内の河床掘削には人吉層露出の問題があるとの説明だが、橋梁の基礎が露出したなら補強すればよい。それが掘れないという絶対的な条件でないと思う。補強した場合との費用対効果の比較検討はしているのか。 	<p>量等が算定されていることとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 砂礫河床が喪失し人吉層が広い範囲で露出すれば、河道が維持できず、橋梁や護岸など河川内の施設全体に支障が生じ、安全が確保できなくなるおそれがあります。 また、アユなどの魚類の生息場や舟下りの名所となっている瀬が失われるおそれがあると考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> 人吉層が露出した場合は、砂利層を復元すれば済むのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 人吉層を余掘りしたうえで砂礫を河床に戻したとしても、掘削前のように砂礫が河床に留まるという確証がありません。もし、砂礫河床が喪失することになれば、河道維持や環境の面で取り返しのつかない状況になると考えています。 また、仮に、このような大規模な河川工事を実施しようとする場合、アユ等の生息環境への配慮や舟下り運行への配慮等から工事を施工できる期間が制限されるため、工事期間は非常に長期に及ぶこととなり、生活環境や観光等への影響を与えるおそれがあると考えられます。
<ul style="list-style-type: none"> 川辺川流域は球磨川流域の約55%を占めると聞いたが、資料には人吉地点4,000m³/s、川辺川1,500m³/s、それ以外の水上から流れてくるのが2,600m³/sとある。これにはダム調節が入っているのか。この辺りの基本的なデータがはっきりしない。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画高水流量は、洪水調節も考慮した流量です。計画高水流量は、河道の状況や地形特性、既設市房ダムの洪水調節等を総合的に勘案して設定しています。
<ul style="list-style-type: none"> 森林は1平方mあたりの保水力が具体的な数字としてあるのか。傾斜や樹種の違いによって具体的に説明して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 森林の保水力に係る既往の研究においては、雨の降り方等様々な要因が重なるため、現在までのところ、保水力を定量的に解明するに至っていないと聞いています。 そのため、基本高水のピーク流量の検討にあたっては、実際に球磨川流域で観測した洪水時の降雨量と河川流量のデータを用いて、球磨川流域における降雨量と河川流量の関係を求めています。従って、結果として、この関係式は球磨川流域における森林の実際の洪水緩和機能も考慮しているところです。
<ul style="list-style-type: none"> (上流域の雨量と流量の関係を整理したものについて) この関数には時間が必要では。 	<ul style="list-style-type: none"> 治水計画を立てる際には、洪水時のピークとなる流量に対して対策を考えることになるため、降雨とピーク流量の関係が重要であると考えています。
<p>【球磨川の治水対策について】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 中北の第一樋門の内外に土砂が堆積し、排水面で支障をきたしている。国交省で土砂の浚渫をしてもらえないか。また、水路のスクリーンを完全に下ろすと堰き止める状態になるため、少し下を空けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告会后、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきましたが、今後、現地の測量を行い、堆積土砂がどの程度影響を与えているかを確認し、土砂撤去の必要性について検討していきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> H9年の台風18号の時には、高潮と球磨川の洪水とが合流して中北の堤防を越す寸前だった。堤防の嵩上げはしてもらったが、オーバーフローした時は堤防の住宅側は崩れる可能性は十分あるのではないかと。住宅側の法面の補強についても検討をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高潮堤防については、現在工事を実施している鼠蔵地区を除き、必要な堤防の高さ(昭和34年に日本に甚大な高潮被害をもたらした伊勢湾台風と同規模の台風が、九州本島の西側の進路を通った場合に想定される高潮に対応できる高さ)は概ね確保されている状況です。 しかしながら、高潮堤防に必要なコンクリート護岸が張られていないところなどがありますので、周辺の景観にも配慮しつつ、

<p>【球磨川の環境について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆめタウンのところに砂利採取船が放置されていて、環境、景観の面から悪い。河川整備の中の環境整備でなんとかできないか。 	<p>今後、順次整備を進めていく考えです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川区域内に不法投棄された物件の処分については、河川管理者であっても、不法投棄されている私有財産を勝手に処分することができないことをご理解いただければと思います。 なお、所有者が確認された場合は撤去をお願いしておりますが、所有者が確認されない場合は、地元の市役所や警察にも協力をいただいて、撤去を行った事例もあります。 ご指摘の砂利採取船の撤去については、もうしばらくお時間をいただければと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・南川橋の中北清掃センターあたりの堤防の散策道について、橋のたもとのところで道路が交差しており、歩いてきた人が車が過ぎるまで待つ時間がかかっている。橋の下に人間が通れるだけでもよいので道を造って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会の後、ご発言いただいた方と一緒に現地を確認させていただきました。ご要望を踏まえ、今後の対応を検討していく考えです。
<ul style="list-style-type: none"> ・国交省で行っている堤防の草刈りについて、頻度、時期を教えてください。区間の途中まで刈って、また、下流から刈るなどしていた記憶があり、おかしいなと思ったことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防の除草は、概ね年に2回、洪水が起こりやすい時期の前と後に、堤防に亀裂などの異常がないか確認することを目的に実施しています。 八代市での堤防の除草の時期については、春のトマトの時期に虫の発生を抑制するよう配慮している箇所もあるほか、秋の花火大会の観覧場所となる箇所については、花火大会の直前に除草を行うなど、地元のご要望なども踏まえ、時期を考慮して行っているところもあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・堤防の南側の斜面だけが刈られており、反対側は刈られていない。草刈り対象になっていないのか。全部刈って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防の除草は、概ね年に2回、洪水が起こりやすい時期の前と後に、堤防に亀裂などの異常がないか確認することを目的に実施しています。高水敷については公園整備や利用頻度の高いところでは除草しているところもありますが、予算上の制約もあるため、ご要望に十分対応できないこともあります。 今後、ボランティアでの除草活動とも調整を図りつつ、できるだけ効率的に除草が実施されるよう取り組んでいく考えです。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ 誹謗中傷するような発言については掲載しておりません。